

株式会社 信濃レジン

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間 2023 年6月1日～ 2024 年5月31日)



作成日： 2024年9月30日

目 次

項 目	ページ	様式番号
あいさつ	1	—
環境経営方針	1	—
組織の概要 事業・製品の紹介	2	—
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	3	—
主な環境負荷の実績 環境経営目標及びその実績	4	—
環境経営計画の取組結果とその評価 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	5～8	—
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、控訴の有無 緊急事態対応訓練	9	—
代表者による全体の評価と見直し・指示 当社の環境活動について／備考	10	—

□ごあいさつ

株式会社信濃レジンとは、自然豊かな長野県松本市において建設業を通じ社会インフラに取り組んでいます。当社は1985年（昭和60年）に、創業者矢作文男が建築建物補修業の信濃レジン工業を創業し、その後2003年（平成15年）に有限会社信濃レジンとして法人化、2018年（平成30年）に現在の株式会社信濃レジンに組織変更して今年で創業37周年目になります。

創業当時は建物の補修、防水工事を専門に行っていましたが法人化に伴う組織変更時より建築構造物の耐震補強工事、JR 東日本様の駅、官舎等のメンテナンス工事、2010年移行は建築工事と共に橋梁等の土木インフラ整備の補強、補修工事を行っています。コンクリート構造物の耐震補強、補修工事においては長野県内全域のお客様より評価を頂いております。

現在、私達を取り巻く環境も大きく変わり、地震や大規模な自然災害、気候変動に伴う異常現象、オゾン層の破壊、地球温暖化等の環境問題等、これら人類共通の課題に対して、その配慮が欠かせないものとなり責任も大きくなっています。当社はこれを受けてエコアクション活動を継続し、SDGS取得、並びに地域の皆様と共に、豊かな社会環境を構築していきます。

環境経営方針

<環境経営理念>

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1. 自分を大事にし、自分たちの街を大事にし、地球も大事にしよう。2. 全員参加で創意工夫を継続して行う。 |
|--|

<環境保全への行動指針>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 健康管理に留意し心身共に健康体な会社、社員を目指します。
3. 創意工夫による省エネルギーにより二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - ① 化石燃料の消費削減における二酸化炭素の排出量の削減
 - ② 電気使用量の削減
 - ③ 省エネルギー設備への更新や環境配慮自動車（電気・ハイブリット車）の導入の推進
 - ④ クリーンエネルギーへの切り替えの促進
4. 廃棄物の削減の為、分別の徹底、再利用、再資源化を推進します。
5. 適正な利用により水使用量の削減に努めます。
6. 化学物質の適正管理に努めます。
7. 環境に配慮した製品の使用、工法の選定に努めます。
8. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。
9. エコアクション21活動の実施によるSDGsを目指します。
10. 環境経営方針を全員に周知し、環境に対する意識の向上を図り、環境経営の継続的改善を誓約します。

制定日：2022年6月1日

代表取締役社長 中村 孝弘

□組織の概要**(1) 名称及び代表者名**

株式会社 信濃レジン
代表取締役 中村孝弘

(2) 所在地

本社・倉庫 〒 390-0852 長野県 松本市島立3510-3

(3) EA委員会氏名及び担当者連絡先

責任者 メンテナンス部 山田 訓生 TEL : 0263-50-7023
担当者 総務部 松田 和枝 TEL : 0263-50-7023

(4) 事業内容

総合建設業（土木・建築・大工・左官・とび・タイル・塗装・防水・内装仕上げ）

(5) 事業の規模

売上高 45,000 万円（過去3年間平均）

		本社・倉庫			合計
従業員	名	16 名			16
延べ床面積	m ²	595.23 m ²			595

(6) 事業年度

6 月 1 日 ～ 5 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 株式会社 信濃レジン
対象事業所： 本社・倉庫 鉄骨造 3階建 床面積 595.23m²

□事業や製品(商品)の紹介

土木・建築一式総合建設業（一般建設業） 長野県知事許可（般-30）第22314号
土木工事業：建築工事業：大工工事業：左官工事業：とび
タイル工事業：塗装工事業：防水工事業：内装仕上工事業

元請 JR関連建物メンテナンス事業、住宅リフォーム

下請,孫請 建築関連 建物の耐震、補修補強工事 防水、塗装、塗床、内装工事
土木関連 橋梁、水路、トンネル 補強、補修、防水工事

加入団体

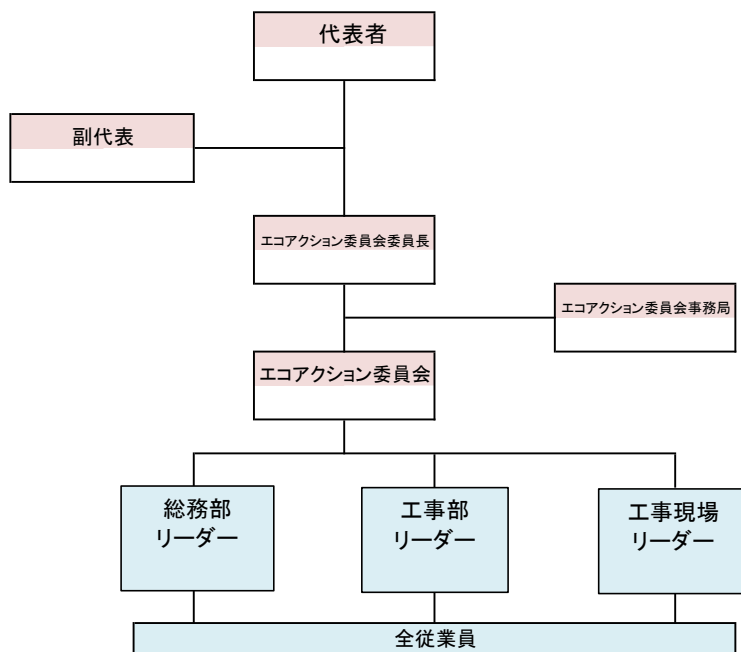
全国健康保険協会 長野県支部 健康づくりチャレンジ宣言事業所
松本市災害時サポート事業所 登録 鉄道建築協会 会員
長野県建築士事務所協会松筑支部 賛助会員 信州建築構造協会 会員
長野県防水業協会 会員 松本商工会議所建設部会 会員
繊維補修協会 会員 コンクリート保全協会 会員
中部ベスト工業会 会員 F S T 工業会 会員

□ 車両・機械保有台数

車両 乗用車(ハイブリット車)1台 (ガソリン車)8台 軽自動車(ガソリン車)4台
トラック(ディーゼル車)1台 リフト(ガソリン車)1台

□環境経営組織図及び役割・責任・権限表

更新日：



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・エコアクション委員会委員長を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
エコアクション委員会 責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
エコアクション委員会 事務局	・エコアクション委員会責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
エコアクション委員会	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長 (リーダー)	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

(事業年度：6月1日～5月31日)

項 目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	86,594	80,015	75,625
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	46,256	41,944	38,024
産業廃棄物排出量	kg	14,490	7,320	8,535
水使用量	m ³	235	217	172

※二酸化炭素排出係数 0.474 kg-CO₂/kWh 中部電力会社2019年度の調整後の係数

※負荷の実績は工事現場を含む

□環境経営目標及びその実績

(基準値は2022年6月～5月)

項 目	年 度	基準値	2023年度		評価	2024年度	2025年度
		(基準年)	(目標)	(実績)		(目標)	(目標)
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	6,079	6,018	5,360		5,957	5,896
	基準年度比	2022年度	99%	88%	○	98%	97%
灯油による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	5,336	5,283	4,940		5,229	5,176
	基準年度比	2022年度	99%	93%	○	98%	97%
LPGによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	440	436	314.1		432	427
	基準年度比	2022年度	99%	71%	○	98%	97%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	68,446	67,762	65,012		67,077	66,393
	基準年度比	2022年度	99%	95%	○	98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計		kg-CO ₂	80,301	79,498	75,625	78,695	77,465
一般廃棄物の削減(可燃)	kg	41,944	41,525	38,024		41,105	40,686
	基準年度比	2022年度	99%	91%	○	98%	97%
混合廃棄物の削減	kg	2,060	2,039	3,460		2,019	1,998
	基準年度比	2022年度	99%	168%	×	98%	97%
建設副産物の再資源化率の向上	%	16%	21%	23%		22%	23%
	基準年度比	2022年度	22%	142%	×	99%	99%
水道水の削減	m ³	217	215	172		213	210
	基準年度比	2022年度	99%	79%	○	98%	97%
化学物質の適正管理	適正管理	適正管理	適正管理	適正管理		適正管理	適正管理
環境に配慮した工事の推進	・工事の効率化 ・作業ミスの防止 ・顧客クレーム削減 ・廃棄物の再資源化の推進 (別項目で実施)						

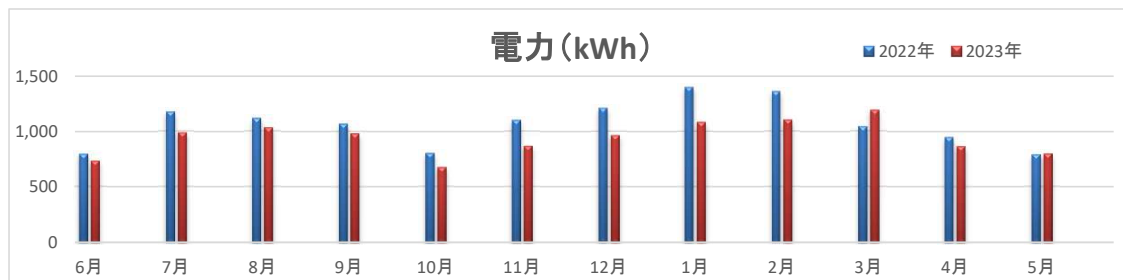
事業年度：6月1日 から 5月31日

□環境経営計画の取組結果とその評価

数値目標:○達成 ×未達成

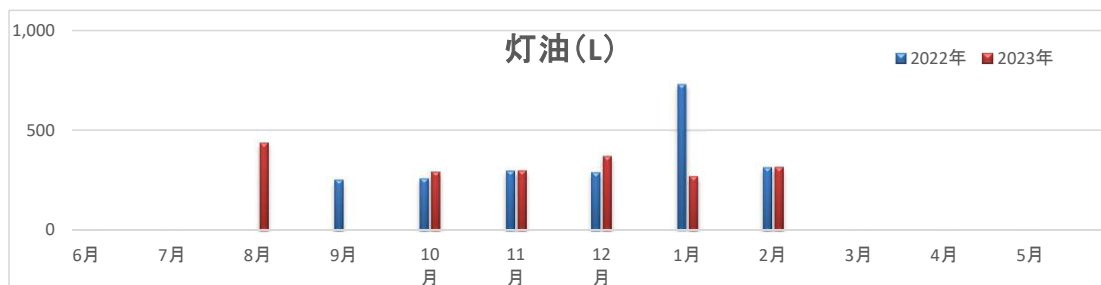
活動:◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	88%	【活動期間の評価】
・不必要な照明は消灯する	○	各個人の電熱ヒーターをパネルヒーターに変えた事により目標を達成できた。
・空調の適温化を徹底している(冷暖房器具の設定温度固定)	○	
・空調機フィルターの定期的清掃交換など適正に管理している	○	
・冬場の足元防寒対策	○	



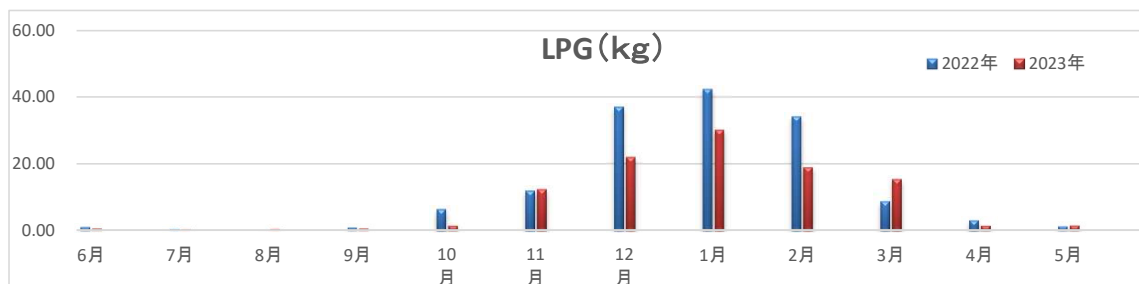
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2022年	796	1,176	1,117	1,074	802	1,102	1,213	1,399	1,359	1,044	952	790	12,824
2023年	734	990	1,034	986	676	870	967	1,087	1,106	1,190	870	797	11,307

灯油による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	93%	【活動期間の評価】
・ストーブの温度設定	○	パネルヒーターにより足元を暖める事により目標を達成できた。
・使用していない部屋のストーブは消す	○	
		【次年度の取り組み】



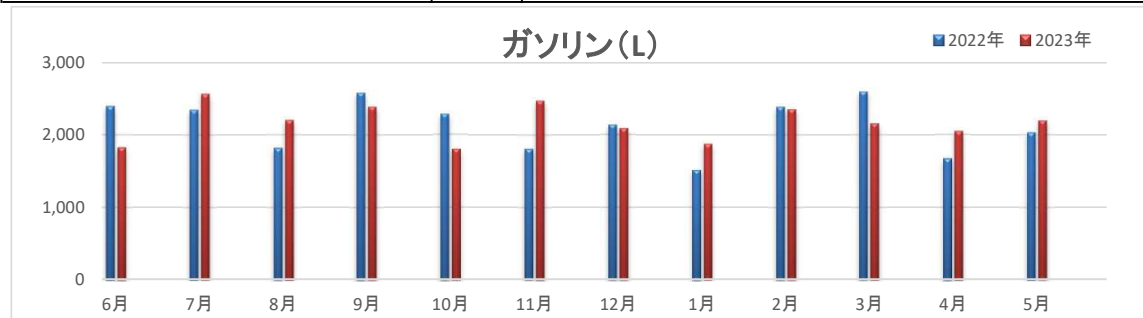
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2022年	0	0	0	253	260	297	290	731	312	0	0	0	2,143
2023年	0	0	437	0	293	298	370	272	314	0	0	0	1,984

LPGによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	71%	【活動期間の評価】
・ストーブの温度設定	○	パネルヒーターにより足元を暖める事により目標を達成できた。
・使用していない部屋のストーブは消す	○	
		【次年度の取り組み】

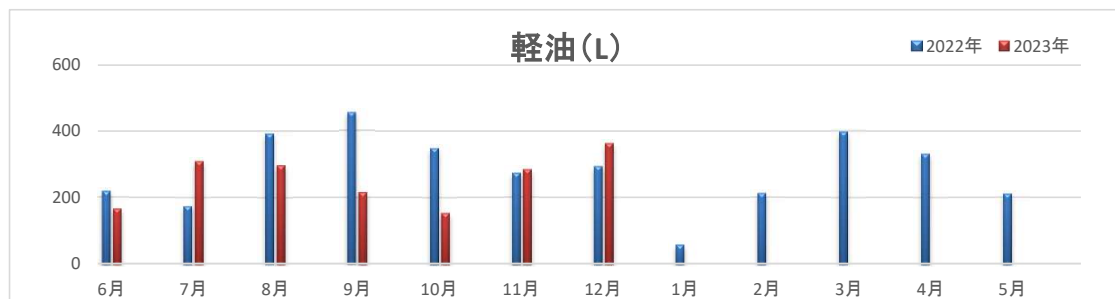


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2022年	1.00	0.40	0.00	0.80	6.20	11.80	37.00	42.40	34.20	8.80	3.00	1.20	146.80
2023年	0.50	0.20	0.40	0.60	1.40	12.20	22.00	30.20	19.00	15.40	1.40	1.40	104.70

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	95%	【活動期間の評価】 エコ運転の意識の高揚はできた。 【次年度の取り組み】 1年間に500件程度の現場があり長野県内各所に点在している為、データでは一概に評価できない。 引き続き個人各々に燃費のデータを取り意識の高揚をはかる。
・アイドリングストップ	○	
・急発進急加速運転の禁止	○	

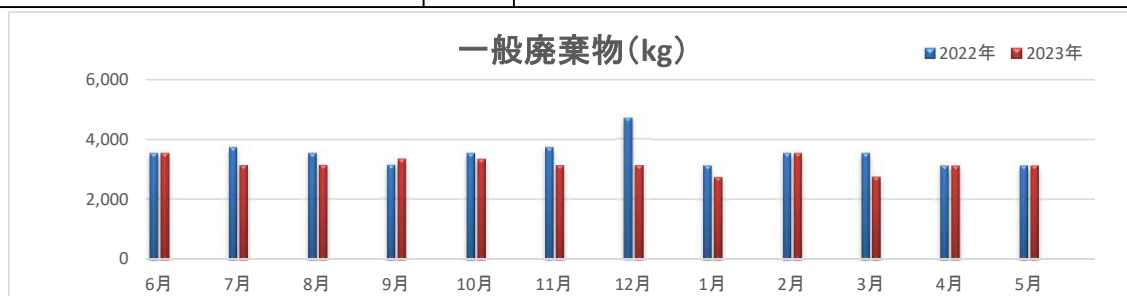


	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2022年	2,400	2,353	1,825	2,587	2,286	1,817	2,140	1,513	2,395	2,602	1,677	2,038	25,633
2023年	1,834	2,573	2,206	2,395	1,806	2,479	2,093	1,871	2,360	2,160	2,050	2,205	26,032



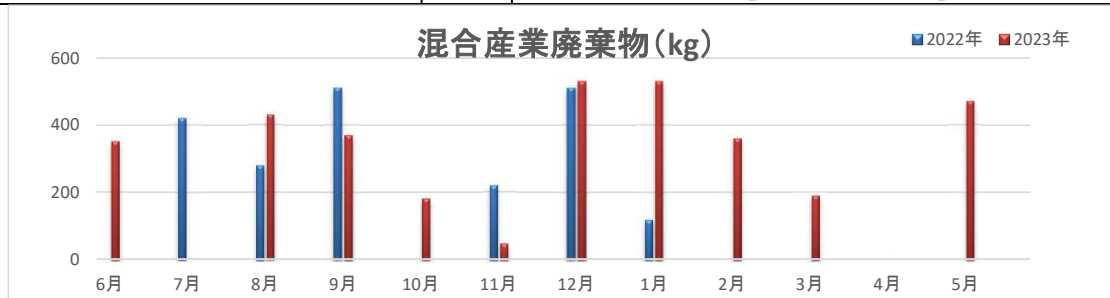
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2022年	218	175	393	455	349	273	294	58	213	398	332	211	3,369
2023年	166	310	298	217	155	283	362	0	0	0	0	0	1,790

一般廃棄物の削減(可燃)	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	91%	【活動期間の評価】 会議資料のメール送信によるペーパーレス化に成果が出た。 大型ディスプレイ導入により会議資料のペーパーレス化を前進させた。 【次年度の取り組み】
・分別の徹底	○	
・会議資料事務書類の簡素化	○	
・帳票見直しによる印刷物の削減	○	
・ペーパーレス化、文書の電子化	○	



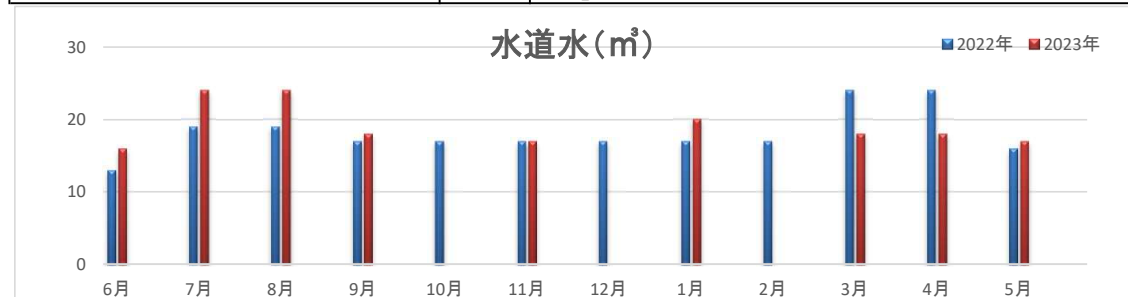
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2022年	3,528	3,724	3,528	3,136	3,528	3,724	4,704	3,136	3,528	3,528	3,136	3,136	42,336
2023年	3,528	3,136	3,136	3,332	3,332	3,136	3,136	2,744	3,528	2,744	3,136	3,136	38,024

混合廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	168%	【活動期間の評価】
・作業ミスによる廃棄量の削減	○	毎月の全体会議において分別状況を伝え正誤判定をし行動規範を確率された。
・素材別ボックスの設置	○	
・回収業者の開拓	○	
		【次年度の取り組み】



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2022年	0	420	280	510	0	220	510	120	0	0	0	0	2,060
2023年	350	0	430	370	180	50	530	530	360	190	0	470	3,460

建設副産物の再資源化率の向上	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	142%	【活動期間の評価】
・コンクリートガラと鉄くずの分別によるリサイクル化	○	リサイクル化を開始できた。
		【次年度の取り組み】
		紙くずと段ボールの分別を徹底する。 更なる徹底を図る。
水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	79%	【活動期間の評価】
・節水呼びかけ表示	○	節水呼びかけ掲示により達成できた。
・日常的に節水を励行	○	
		【次年度の取り組み】



	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	合計
2022年	13	19	19	17	17	17	17	17	17	24	24	16	217
2023年	16	24	24	18	0	17	0	20	0	18	18	17	172

化学物質の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・ 有害性物質の使用量の把握	○	【活動期間の評価】 社内での取扱いはなかった。 【次年度の取り組み】 適正管理に努める。
・ 有害性物質の表示の徹底	○	
グリーン購入の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・ 事務用品グリーン購入（コピー用紙PEFC使用）	○	【活動期間の評価】 グリーン商品の購入ができた。 【次年度の取り組み】 引き続きグリーン購入を推進する。
環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・ 工事の効率化	○	【活動期間の評価】 効率化、作業ミス防止は概ねできた。 【次年度の取り組み】
・ 作業ミスの防止	○	
・ 顧客クレーム削減	○	
・ 廃棄物の再資源化の推進（別項目で実施）	○	

□次年度の環境経営目標及び環境経営計画

項 目	目 標	取り組み内容
電力による二酸化炭素削減	5,957 kg-CO2 98%	照明をLEDに交換 内付け断熱サッシ取付
灯油による二酸化炭素削減	5,229 kg-CO2 98%	内付け断熱サッシ取付
自動車燃料による二酸化炭素削減	67,077 kg-CO2 98%	ハイブリット車の追加導入 エコ運転の推進
一般廃棄物の削減(可燃)	41,105 kg 98%	マイボトル持参 コピー用紙裏面の再利用
混合廃棄物の削減	2,019 kg 98%	分別の徹底推進
建設副産物の再資源化率の向上	22%	分別の徹底推進
水道水の削減	213 m ³ 98%	水の出しっぱなしに気を付ける
化学物質の適正管理	——	毎月の在庫調査を実施
グリーン購入の推進	——	心掛けて購入
環境に配慮した工事の推進	——	環境に配慮した材料、工法の提案

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無
 法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	判定
廃棄物処理法	産業廃棄物（廃プラ、廃ガラス、廃油等）	○
建設リサイクル法	建設副産物	○
消防法（危険物）	危険物の保管	○
フロン排出抑制法	簡易点検、漏洩時の報告	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
 なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□緊急事態対応訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2024/2/20（火）16：00～17：00	■実施場所 社内
■参加者： 社長、常務、山田、総務部長、松田、 7名 藤森、横地	■実施内容： ・通報訓練、避難訓練
■評価： 勝手からの火災を想定し訓練を実施した。訓練は問題だらけで良い経験になった。	手順書の変更の必要性 ☒ あり ☐ なし
■実施状況の様子 目的としてチームワーク良く敏速に全員避難する事、初期消火を行い、機転をきかせ臨機応変な対応力を養うはずだったが、目的を理解していないため、自分の役割だけで自発的な動きができなかった。 ～対策～ ① 目的を全員が理解した後で訓練を行う ② 指揮者を決め、指揮者の指示に従い行動する ③ 事務所内の各部屋の残留者確認を行う ④ 上記①～③を考慮しマニュアルを見直す	

□代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日：2024年6月3日

【前回の指示への取組結果】
なし

＜情 報＞		＜見直し・指示＞	
◇ 自社を取り巻く環境問題の変化 （社会的情勢、利害関係者の要求等）		◇ 環境経営方針は変更しない	
・工事等に環境への配慮が強く求められている ・SDGsへの取り組みが求められている		◇ 長野県SDGs推進企業登録制度について検討する	
◇ 環境経営目標・計画の達成状況 二酸化炭素排出量 電気・ガス排出量の見直し			◇ 環境経営目標・環境経営計画は変更しない
建設副産物に再資源化の推進			・産廃処分業者と話し合い鉄くずコンクリートガラを再資源化していく ・産廃の分別の指示、徹底
◇ その他 ・利害関係者からの苦情・要請等はなし ・環境上の問題点等はなし			・社屋付近の、道路清掃を行う。 ・近隣住民への挨拶 ・近隣道路の雪かき
◇ 総括			

1. CO2削減 光熱関連は提案実行により2年間ではあるがに確実削減されている。今後も周知徹底を図っていく。

2. 最もCO2排出量の多い車両燃料による排出量は若干減少はした。しかしながら弊社は売上、現場への距離、現場作業状況により異なるため数値だけでは判断できない。今後さらに会社としてはエコカーの導入、現場通勤の回数を減らすよう段取りをしていく。個人のエコ運転、現場作業の無駄を少なくするよう、意識の高揚に努めていく。

環境経営方針	■ 変更なし	□ 変更あり
環境経営目標・計画	■ 変更なし	□ 変更あり
実施体制	■ 変更なし	□ 変更あり

□ 当社の環境活動について

- 会社付近の道路清掃 6月25日（土曜日） 社屋前道路両島橋から沙汰神社一の鳥居区間にて実施
次年度からも環境コミュニケーションをはかるために実施していく。
- 環境を考慮した工法、材料の提案を元請にし環境活動を推進していく。
次年度からも環境コミュニケーションをはかるために実施していく。